

迫桜高等学校

校訓 敬愛 創造 至誠



1 基本データ

創立：平成13年
課程・学科：全日制課程・総合学科
生徒数：383名
所在地：〒989-5502
栗原市若柳字川南戸ノ西184
TEL：0228-35-1818
FAX：0228-35-1822

ホームページアドレス：
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
hakuou@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：栗原市民バス
石越駅より栗原中央病院ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分
くりこま高原駅より石越駅前ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

夢 はばたけ未来へ！

「敬愛 創造 至誠」を校訓とし、命あるものを尊び、豊かな人間性と進取の精神を養い、夢のある未来社会をめざし、創造的に自己鍛錬に励む、心身ともに健全な人間の育成を目標としています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

県北の田園地帯に位置し、西に栗駒山を望むことができる本校は、栗原・登米地区で初の単位制総合学科の高校として、平成13年4月に開校しました。

本校は、生徒のいろいろな興味や関心、進路希望に対応できるように、人文社会(令和7年度より学級減にともない、人文国際・自然科学系列を統合して人文社会系列と名称を変更しました)・福祉教養・情報ビジネス・エンジニアリング(機械・土木)・アグリビジネスのそれぞれを学べる系列と多くの選択科目を設定するとともに、さまざまな施設・設備を備えた学校です。

また、県内でも屈指の斬新なデザインの校舎です。一辺が約120mの正方形の二階建てになっており、体育館(アリーナ)が中央に配置され、廊下は最大で幅7メートルもあるなど、視覚的にも考慮された快適な生活空間になっています。

バリアフリー設計で、廊下には段差がなく、エレベーターも設置されています。太陽熱を利用した床暖房も取り入れています。また、令和6年度には各教室にエアコンが整備され、運用されています。

ほかにも、アグリビジネス系列の実習棟が校舎棟向かいにあり、また、マルチメディア型の広い図書館を備えており、一般への開放も実施しています。

(2) 教育方針

- 1 「進路希望の達成」
- 2 「学力の保障」
- 3 「集団の中で自己を磨き自己実現」

特に「きめの細かい進路指導・学習指導の推進」及び「心ゆたかでの主体的に生きる人間の育成」に重点的に取り組んでいます。

(3) 教育課程の特徴

本校では、100以上の選択科目の中から生徒の皆さんが自分で科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。科目選択のためには自分の進路を考える必要があります。そのために本校では三つの方法を提供しています。一つめは、科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は、人文社会、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング(機械・土木)、アグリビジネスの5つです。この《系列》内の選択科目を参考にして自分の科目を選択することになります。

二つめは、「産業社会と人間」という総合学科独自の教科です。この「産業社会と人間」で科目選択について学習し、また、上級学校ガイダンスなどを通して、自分の将来についていろいろな角度から見つめ、深く考えます。1年次で学習します。

三つめは、「ドリカムゼミ(総合的な探究の時間)」を通して、生徒の皆さん一人一人が3年間継続して自分の進路に向けた課題解決型の学習ができるようにしています。

これら三つの方法により、本校のテーマである“生徒の進路希望達成”を実現しています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事：スポーツ大会、迫桜祭、ドリカムプラン発表会、芸術鑑賞会、修学旅行、支部総体、県総体、支部総合文化祭等。

生徒会活動：生徒会は、『生徒が主体となって生徒会活動を盛り上げる』をモットーに、明るく元気に日々活動しています。今、自分たちができる最大限のことは何かを考え、様々な行事の企画・運営を行っています。また、先の能登半島震災のような大規模災害に際して、ボランティア活動や募金活動も行っています。

部活動：運動部14、文化部13、愛好会1があり、熱心に活動しています。各運動部では、ほぼすべての部が県総体に進出しました。

文化部では、写真部が県高校写真展で団体第2位、個人では2024清流の国ぎる総文で優秀賞を受賞しました。他にも演劇部、自然科学部、美術部、写真部、書道部、茶華道部も県展などでさまざまな賞を受賞しています。

また、新たに軽音愛好会が創設され、意欲的に活動を行っています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	19	15	13
短期大学	7	7	5
専各学校	42	42	64
就職(県内)	57	56	64
就職(県外)	9	2	5
その他	5	3	3
卒業生計	139	125	154

主な進路先(令和7年3月卒業生)、()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

石巻専修大学(9)、尚絅学院大学(2)、東北化学園大学、東北福祉大学、東北学院大学(2)、城西大学、新潟食料農業大学、横浜創英大学、横浜商科大学

<短期大学>

三重短期大学、仙台赤門短期大学、仙台青葉学院短期大学(4)、山形県立米沢女子短期大学<大学校・高等技術専門校・専修各種学校>

【工業分野】東北電子(3)、花壇自動車大学校(2)、仙台デザイン(2)、仙台デザイン&テクノロジー(2)、仙台工科

【農業分野】東北動物看護学院(4)

【医療分野】仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台市医師会看護学校、気仙沼市立病院附属看護専門学校、葵会仙台看護専門学校、水沢学苑看護専門学校、仙台リハビリテーション、仙台医療秘書福祉&IT、仙台医療福祉、国際医療福祉

【衛生分野】仙台ビューティアート(4)、仙台ヘアメイク(5)、宮城調理製菓

【教育・社会福祉分野】仙台幼児保育(2)

【商業実務分野】仙台大原簿記情報公務員、東京法律公務員仙台校、国際マルチス

【文化・教養分野】仙台ウェディング&ブライダル、仙台スイーツ&カフェ(3)、仙台リゾート&スポーツ、仙台ストリートミュージック&ダンス

<公務員>

栗原市一般行政、一関市一般行政、登米市一般行政、刑務官

<民間就職>

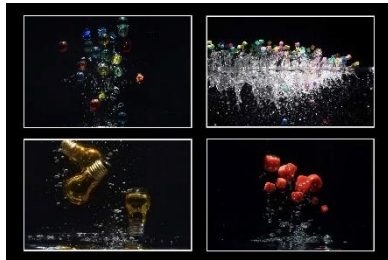
登米村田製作所(2)、日本郵便郵便事業総本部東北支社、エスピー食品宮城工場(2)、薬王堂(3)、迫りコー、ホテル佐働、カルビー、トヨタ自動車東日本、日産サテオ宮城、医療法人仁泉会介護老人保健施設なかだ、HOYAペンタックスライフ事業部宮城事業所、仙北信用組合他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

写真部 清流の国ぎふ総文2024 優秀賞(全国6位)受賞

優秀賞 作品名「反抗期」



令和6年7月29日～8月4日に岐阜県で開催された第48回全国高等学校総合文化祭(2024清流の国ぎふ総文)に参加しました。写真部の全国大会出場は7年連続で、毎年優秀な成績を残しています。令和6年度は作品名「反抗期」が優秀賞(全国6位)を受賞しました。

高校生のための文化講演会



令和6年度は、映画『地面師たち』の原作者である、作家の新庄耕先生をお招きして講演会が行われました。生徒は真剣な面持ちで聞き入っていました。



(2) 学校の主な行事

スポーツ大会

例年7月中旬に2日間にわたりスポーツ大会が開催されます。今年も「安全➕第一」をスローガンに、アリーナでは球技種目や綱引きが、グラウンドでは学年・クラス対抗リレーなどが行われます。

各クラスが工夫を凝らしたオリジナルのTシャツを着て熱戦を繰り広げる様子は、毎年圧巻です。

コロナ禍による制限も解除され、生徒たちは大きな声で精一杯の声援を送り、生徒皆が笑顔で熱戦を繰り広げました。

今年が目玉になる新競技は何か、また、総合優勝を飾るのは果たしてどの学年か。楽しみでいっぱいです。



迫桜祭

例年10月中旬に、2日間の日程で迫桜祭(文化祭)が行われます。初日は校内発表、2日目は一般公開です。

文化部のステージ・展示発表はもとより、各委員会や専門系列も毎年趣向を凝らした展示発表を行っています。

昨年度から模擬店も復活し、3年次各クラスはそれぞれアイデアを出し合って迫桜祭を盛り上げるべく、模擬店運営に全力で取り組んでいました。

クラスパフォーマンスは、オリジナル動画やステージでの発表でしたが、どのクラスも趣向を凝らした、抱腹絶倒の映像と発表でした。

今年はどうのような企画が飛び出するか、今から楽しみです。



(3) 制服紹介

平成13年開校時より現在の制服を制定しています。

男子はストライプのネクタイが、女子はタータンチェックのスカートと水色のリボンが、ともに高校生らしくさわやかな印象を与えています。

令和2年度からは女子の防寒対策などを考慮し、女子用スラックスを導入しています。女子でスラックスを着用している時は、ネクタイ着用も可としています。



(4) 施設紹介

2001年に開校した校舎です。中央にアリーナ(体育館)を置き、その周囲を口の字型に各教室が囲む、これまでにない独特な形状が特徴です。

若柳の田園に現れた、オーストラリアのウルル(通称エアーズロック)のような巨大な建物。それが迫桜高校の校舎です。

校舎は現在中規模改修工事が行われており、令和7年11月に工事終了予定です。令和6年度には新農業実習棟が完成し、アグリビジネス系列の生徒達が実習に励んでいます。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 小野寺心月さん(花泉中出身)からのメッセージ

中学生のみなさん、生徒会長の小野寺心月です。私から迫桜高校の特色と魅力について紹介します。

迫桜高校は県内でも珍しい総合学科の高校で、人文社会の普通科1系列と、福祉教養・情報ビジネス・アグリビジネス・エンジニアリング(機械・土木)の専門4系列から、自分自身の興味・関心のある系列を選択することで、一人一人の将来の目標を実現できる高校です。

私が思う迫桜高校の魅力は、選択授業の種類が多く、受けたい授業や進学・就職に必要な授業を自由に選べるところです。誰とも被らない、自分だけの時間割を作ることができます。ただ入学して2ヶ月ほどで3年分の授業を選択しなければならぬので、自分の進路について早めに方向性を考えておくことをおすすめします。

中学生の皆さん、迫桜高校に入学して私たちと夢に向かってはばたいてみませんか。迫桜高校で待っています。